

#### ④ 鎌倉山

鎌倉山は標高 209m で、茂木町北部の那珂川沿いにそびえる。山の東側が那珂川に接し、河岸にはおよそ 100m の断崖が見られる。この鎌倉山の眺めは、那珂川県立公園随一の景観といわれ、「栃木の景勝百選」となっている。大瀬から遊歩道が通っており、那珂川に沿って下流へとつながっている。

鎌倉山の北斜面では、3~4月頃、カタクリ、アズマイチゲなどの春植物が見られる。また、キジョランを食草とするアサギマダラ、エノキを食草にするオオムラサキ、ゴマダラチョウ、アワブキを食草とするアオバセセリなど昆虫が見られる。暖地性のムラサキシジミ、モンキアゲハ、アラカシと関連が深いハイロヒラタチビタマムシが確認されている。また、ミヤマセセリや、ブナ科植物の樹林と関連が深いヤスマツトビナナフシなどが見られる。

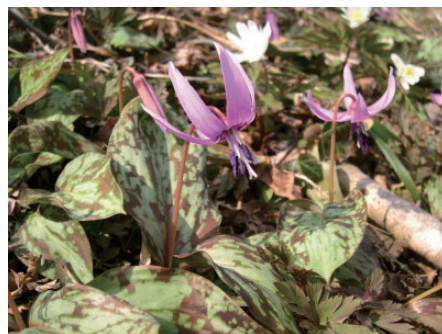
夏から秋にかけて、涼しい木陰の中にある遊歩道の脇では、鮮やかな朱色のタマゴタケ、落葉樹のクヌギやコナラには、樹液を求めるオオムラサキ、ゴマダラチョウ、カブトムシ、クワガタムシ類を見ることができる。



春の鎌倉山の明るい林内（茂木町 4月）



鎌倉山からの眺め（茂木町 4月）



カタクリ(ユリ科)  
(写真：榎日水コン)

図 4-39 鎌倉山の生物



ムラサキシジミ (シジミチョウ科)  
(写真: 榎日水コン)



アオバセセリ (セセリチョウ科)  
(写真: 長谷川 順一氏)



タマゴタケ (テングタケ科)



ヤスマツトビナナフシ (ナナフシ科)  
(写真: 榎日水コン)



エノキ (ニレ科)  
(ゴマダラチョウ・  
オオムラサキの食草)  
(写真: 榎日水コン)



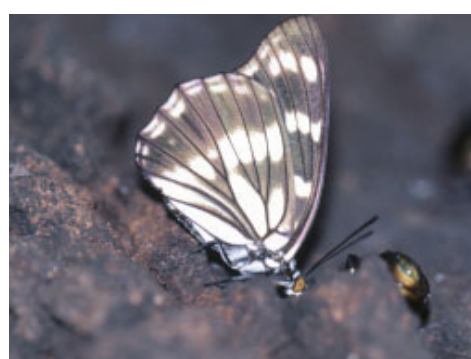
ゴマダラチョウの越冬幼虫 (左) とオオムラサキの越冬幼虫 (右)  
(写真: 榎日水コン)



カブトムシ (コガネムシ科)  
(写真: なかがわ水遊園)



オオムラサキ (タテハチョウ科)  
(写真: 小菅 次男氏)



ゴマダラチョウ (タテハチョウ科)  
(写真: 榎日水コン)

図 4-40 鎌倉山の雑木林の昆虫